

(別添4)

【神栖市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月)等を踏まえ、神栖市では目指す学びの姿を「創造性があふれ、向上心みなぎる学び」とする。具体的には、1人1台端末・クラウドツールを活用し、児童生徒の興味関心に応じた感性や創造性を養う豊かな学びと、自ら主体的・探求的に向上心をもった学びの充実を目指す。

2. GIGA第1期の総括

神栖市では、GIGAスクール構想第1期の下、児童生徒1人1台端末と、校内ネットワークの整備を進めてきた。また、教職員向けの端末活用研修を重ねることで、授業での利活用も進んできた。一方、教職員及び学校間でICT活用スキルや意識に格差がある。今後、より一層の利活用推進のため、より高速なインターネット回線への契約更改や、周辺機器の整備に加え、教職員の習熟度に応じた研修の充実による市内全体でのICTを活用した指導力の向上が求められると考える。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

- ・教職員及び学校間でのICT活用スキルや意識に格差があることから、教職員向けにICT活用能力の習熟度に応じた研修を設けていく。具体的には児童生徒自身が考えをまとめ、発表・表現する場面で1人1台端末を積極的に利活用できるよう、研修内容を構築し1人1台端末の利活用を推進する。
- ・クラウドツールを用いて家庭学習の充実を図り、児童生徒の理解度・進度に合わせた課題に取り組むことができるよう、検討していく。

・学びの保障という観点では、教職員向けの研修にて、他自治体の好事例を積極的に共有し、特に特別な支援を要する児童生徒の学びが保障される環境を整備し、誰もが向上心をもって学ぶことができるよう取り組んでいく。